

工学研究院の 教育研究活動トピックスに 注目して下さい!!

工学研究院長 國分泰雄



この冊子は、工学研究院 / 工学府 / 工学部に関連する2006年度の活動の中から、教育、研究、社会 / 国際貢献、組織運営、の各項目についてのアクティビティを皆様にお伝えするために、2004年度から作成・配布を開始しました。

昨今の国立大学改革を巡る動きはめまぐるしく、また運営費交付金の配分方法見直しや削減を基調とする提言が出されて、投入された国費に見合った活動を国立大学がしているのかを問うようなマスコミ等の論調も見られます。それに対する反論は、まず国立大学のアクティビティを広く知って頂くことが第1です。法人化前の国立大学はとかく広報活動には熱心でない時代がありましたが、国立大学法人化後に各国立大学はその姿勢を大きく転換しています。

国立大学法人の教育研究活動の評価は、詳細なデータに基づいて議論されるべきで、そのために各国立大学法人は2004年4月のスタート時に、6年間の中期目標・中期計画を立てて文部科学省に提出するとともに社会に公開して、各大学の理念や教育・研究・社会貢献・管理運営などの各年度の成果も公開しています。本学でも、目標期間中の各年度の詳細な実績報告書を文部科学省に提出して評価を受けた後、本学のホームページ (http://www.ynu.ac.jp/ynu/press/open/op_4.html) で公開しています。

詳細なデータを公開するのはホームページなどの他の広報媒体が適しておりますので、多くの項目にわたる詳細な実績報告や経営に関する財務諸表はホームページをご覧ください。このパンフレットでは、工学研究院が教育・研究・社会貢献・組織運営にいかにかに努力して成果を挙げてきたかを大まかに把握していただくことを目標としました。本報を読まれた工学研究院の構成員は、自信を深めると共にさらなる発展を目指すための1つの基礎データとして活用していただきたいと思います。また、学外の皆さまは本報をご一読されて、工学研究院の活動やその成果について、忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。